

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

協議会名: 徳島市地域公共交通会議
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
徳島バス株式会社	川内循環線 (徳島駅～川内支所・富吉団地～徳島駅)	利用実態調査の実施による現状把握に努めるとともに、徳島駅前バス乗り場にデジタルサイネージの設置を行うなど、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	【目標達成率】77% (目標:95,982人/年) 【利用者数】173,722人/年 (対前年比:127%) (対前々年比:103%) 【収支率】41% (対前年比:▲7%) (対前々年比:▲25%) 目標を下回った理由として、悪天候による運休や阿波おどりをはじめとした沿線の各種イベントの縮小開催などによる利用者減が考えられる。	利用実態調査の実施とともに、バス車両への乗降センサーの設置を行うなど、より詳細な実態の把握に努める。また、競合区間の路線の見直しに伴い、運行ルートの変更を行い、利便性を確保する。
徳島バス株式会社	渋野線 (徳島駅～動物園・渋野～丈六寺南)	利用実態調査の実施による現状把握に努めるとともに、徳島駅前バス乗り場にデジタルサイネージの設置を行うなど、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	【目標達成率】39% (目標:63,419人/年) 【利用者数】24,831人/年 (対前年比:93%) (対前々年比:53%) 【収支率】29% (対前年比:▲19%) (対前々年比:▲40%) 目標を下回った理由として、悪天候による運休や阿波おどりをはじめとした沿線の各種イベントの縮小開催などによる利用者減と、当該路線は沿線に観光施設が多い路線であるため、行動制限の影響を受けやすいことが要因(動物園の入場者数は約38%減)。	利用実態調査の実施による現状把握に努めるとともに、バス車両への乗降センサーの設置を行うなど、より詳細な実態の把握に努める。また、新たなデザインの動物園ラッピングバスの運行により、利用者数の増加を図る。
有限会社東丸タクシー	応神ふれあいバス (①藤田荘～応神クリニック～マルナカ成長店 ②藤田荘～フジグラン北島～キョーエイ北島店)	地域コミュニティ組織と連携し、広報に努めるとともに、広報紙の新聞折り込みや戸別訪問を継続するなど新規利用者の増加に努めた。 【幹線系統との接続利便性について】 ①②とも四国大学前にて徳島バス北島藍住線・鍛冶屋原線・グリーンタウン線・立道線・応神藍住線・鳴門線に接続。高良神社前にて応神藍住線と接続。 ②フジグラン北島にて徳島バス北島藍住線・鍛冶屋原線・グリーンタウン線・立道線・鳴門藍住線と接続。 利用者がGoogleマップで乗り換え情報を検索できるよう、情報の登録を行っている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	【目標達成率】97% (目標:2,146人/年) 【利用者数】2,081人/年 (対前年比:103%) (対前々年比:105%) 【収支率】3% (対前年比:▲27%) (対前々年比:▲33%) 新規利用者は増加している一方で、既存利用者の加齢や健康状態の悪化により利用が伸び悩んだため。	地域コミュニティ組織と連携し、広報に努めるとともに、広報紙の新聞折り込みや戸別訪問を継続するなど新規利用者の増加に努める。また、利便性向上のため、運行ルートの見直しなどの検討を行う。
大木タクシー有限会社	上八万コミュニティバス ★運行ルート変更前(R3.10.1～R4.4.30) (①セブンしらすぎ台店～アクアタウン東～ふくや小児科内科・コスモス八万店 ②セブンしらすぎ台～センチュリー3号公園～ふくや小児科内科・コスモス八万店 ③日比宇お地蔵さん～明善保育所～日比宇お地蔵さん) ★運行ルート変更後(R4.5.1～R4.9.30) (①ケアハウスやまもも～上八万コミセン～マルナカ徳島店 ②セブンしらすぎ台店～上八万コミセン～マルナカ徳島店 ③日比宇お地蔵さん～上八万コミセン～マルナカ徳島店)	令和4年5月に路線の見直しを行ったことにより、前年の3倍以上の利用者数となった。 地域コミュニティ組織と連携し、地域でのイベントなどを通じて広報や新規利用者の増加に努めた。 【幹線系統との接続利便性について】 ①②③協立病院前・亀井病院前にて徳島バス佐那河内線と接続。 利用者がGoogleマップで乗り換え情報を検索できるよう、情報の登録を行っている。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	【目標達成率】98% (目標:1,185人/年) 【利用者数】1,146人/年 (対前年比:332%) (対前々年比:441%) 【収支率】9% (対前年比:160%) (対前々年比:43%) ※令和2年4月1日より運行開始のため、前々年比は半期分との比較となる。 地域住民へのアンケート結果を基に、運行ルートを変更したことにより、前年に比べ利用者が大幅に増加した。 その一方で、各日の最終便については、他の便に比べ利用者数が伸びなかった。	地域コミュニティ組織と連携し、イベントなどを通じて、増加した利用者の定着や、新規利用者の獲得に努める。

【各評価項目の評価基準】

④事業実施の適切性

- A…事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。
- B…事業が計画に位置づけられたとおり実施されていない点があった。
- C…事業が計画に位置づけられたとおり実施されなかった。

⑤目標・効果達成状況

- A…事業が計画に位置付けられた目標を達成した(する見込み)。
- B…事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)。
- C…事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)。